

# 審議会等議事概要

平成27年度 第2回滝川市いじめ問題対策連絡協議会 議事概要

日 時	平成28年2月1日（月）16:00～17:00
開催場所	滝川市役所 5階 庁議室
出席者	<p>委 員：石名坂健二委員、齊籐雅治委員、萩原康雄委員、藤岡富士夫委員          岸下秀一委員、米澤敬子委員</p> <p>欠席委員：齊藤秀希委員、舛井雄一委員</p> <p>会 長：山崎教育長</p> <p>事務局：田中部長、小野指導参事、吉川課長、堤係長</p>
議 事	<p>1 開 会 進行：吉川課長</p> <p>2 教育長挨拶 山崎教育長</p> <p>3 議 題 進行：会長</p> <p>(1) 報 告</p> <p>①「たきかわ子ども会議2015」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・堤係長から報告</li> </ul> <p>質疑応答等 特になし</p> <p>(2) 協 議</p> <p>①いじめ問題に関する児童生徒の実態把握に係る調査の概要と考察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・堤係長から説明</li> </ul> <p>質疑応答等</p> <p>i 会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校では教育委員会で行うアンケート以外にも児童生徒の実態を掴んでいじめ防止対策を行っていると思うが、学校の取り組みや課題について校長である岸下委員に伺う。</li> </ul> <p>委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導に関わることについては、組織的であること、「報・連・相」（ホウレンソウ）の徹底、職員朝会での素早い対応を行っている。</li> <li>・毎月の職員会議後に生徒指導交流という時間を設け、組織としての共通理解を図っている。</li> <li>・学校独自で児童アンケート、教育相談週間を設け、担任を始めとした教職員と児童との交流を図っている。</li> </ul>

- ・より多くの目で児童を見守るという観点から、私も1年生から6年生までが同じ場所を清掃する縦割り清掃に参加している。
- ・以上の取り組みはいじめ防止に効果的であると考えているが、今後とも見落としのないよう、また事案についてはスピーディーな対応を心がける所存である。

#### ii 委員)

- ・いじめアンケートの「いじめはどんな理由があっても許されないことだと思う」について、「いいえ」と回答する児童生徒が一定数いるが、「いいえ」の具体的な理由について把握しているのかを伺う。

#### 事務局)

- ・アンケートで「いいえ」の具体的な理由を問う項目がないため把握していない。
- ・アンケートは記名式であるので、アンケート終了後の教育相談で担任が指導の一環として「いいえ」と答えた児童生徒の気持ちを聞く等、理由の一端は把握できるかと思うが、アンケートという性質上、そこまでにとどまると考える。

#### 委員)

- ・いじめは許されない行為であるという昨今の認識の高さの中にあっても「いいえ」と答える児童生徒がいる現状を踏まえ、無記名で、可能であれば、「いいえ」と答えた理由を選択する項目を設けるなど答えやすいようにすることができればと考える。このことについて今後検討していただけたらと思う。

#### 事務局)

- ・意見を踏まえ、検討したい。

#### iii 委員)

- ・いじめへの防止対策や学校の取り組みについて、変化していること、または変化してはいけないこと等、感じていることを、校長として勤務経験のある萩原委員に伺う。

#### 委員)

- ・いじめや問題行動を起こさない学校づくりには校長のリーダーシップの元、教師の授業力、指導力が不可欠である。いじめ防止につながるのは日常の授業、指導であり、いじめアンケートで相談相手として教師を挙げる児童生徒の割合が高いことから、児童生徒が教師を頼りにしているのが見て取れる。児童生徒が教師を信頼し、教師が児童生徒を見守る関係が保たれる学校経営が大切である。
- ・学級には気になる児童生徒は必ずいるものであり、教師、特に担任はその児童生徒が起こす事態に対応できる力が求められる。最近はこの対応力が歩及ばない教師や、担任を避けてしまう教師が見受けられるように感じる。
- ・いじめが起こってしまった場合に大切なのは実態把握である。児童生徒と保

	<p>護者の実態把握がなされないままの対応により問題が悪化したケースを経験したことがある。担任は起きた事態そのものに振り回されてしまいがちであるが、子どもの視点や保護者の見方をしっかりとらえた実態把握はいじめへの対応に際し非常に重要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職はその責任の元で問題の本質や解決策を講じ適宜人員配置を行う等、教師が行動を起こす環境を作ることで教師の対応力を高めることにつながるのではないかと考える。</li> <li>・いじめの未然防止に力を注いでいることに感謝する。現段階で重大事例はないが、これが移行しないよう引き続き頑張っていたきたい所存である。</li> </ul> <p>②その他 平成 28 年度の会議運営について事務局より説明。</p> <p>4 その他 特になし。</p> <p>5 閉会</p>
会議資料	会議次第